



Q：音楽プロデューサーのつくしんくさんが、喉頭がんで声帯摘出手術をして声を失ってしまった。

A：のどは喉頭と咽頭（のどから、前方の舌の付け根から気管につながる部分（のどぼとけ）の部分）が喉頭で、声帯があるのが特徴です。後方の食道につながる部分が下咽頭です。声帯がある部位を声門といい、喉頭がんはその発生部位によって声門がん、声門上がん、声門下がんに分類しますが、最も多いのは声門がんで60〜65%を占めます。一番のリスクは喫煙で、90%以上が喫煙者であり、その多くが1日に10本以上吸う人

です。近年、女性の喫煙率の増加に伴って、女性患者が増加傾向にあります。また飲酒もリスクであり、強いお酒を頻繁に飲む地域に多いと言われます。さらに、熱いものや辛いものなど喉に刺激となるものや、大きな声を出すなど喉を酷使することも一因と言われています。症状は声のかすれ、痛みや異物感、血痰、呼吸がしにくいなどで、声門



がんでは声の異常で早期発見されることもあります。他の部位の場合、声に関する症状を呈さないことがあり注意が必要です。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801